

インフラ整備70年 講演会(第46回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

東日本大震災の津波に耐え抜いた

釜石湾口防波堤

<講演内容>

1. 東日本大震災の記録
2. 釜石湾口防波堤の設計思想と津波防護効果
3. 巨大災害に対する新たな設計思想の導入
4. 新たな設計思想に基づく湾口防波堤の再建
5. おわりに

<講演者>

- | | |
|-------|--|
| 藤田 武彦 | 元運輸省第二港湾建設局 横浜調査設計事務所 建設専門官
/元国土交通省 技術総括審議官 |
| 下迫健一郎 | 元港湾空港技術研究所 特別研究主幹 |
| 栗山 善昭 | 元海上・港湾・航空技術研究所 理事長 |
| 津田 修一 | 元国土交通省 東北地方整備局長 |

写真提供:国土交通省 東北地方整備局 釜石港湾事務所

2023年 12月22日 (金)

講演会: 15:00～17:00 (入室開始予定: 14:40～)

場所: ZOOMウェビナーによるWEB配信 定員: 1,000名

2011年3月11日に東日本を襲ったマグニチュード9.0の地震は各地に甚大な災害をもたらした。とりわけ東日本の太平洋岸に襲った津波は未曾有の規模で、この国の沿岸防災のあり方を根底から揺るがす事態を招いた。

地震が多発する島国日本は古くより津波に苦しめられており、今やTSUNAMIは世界の共通語であり、2015年に国連が定めた世界津波の日(11月5日)は和歌山県広川に伝えられる「稲むらの火」に由来している。

津波に対する防護策としては海岸堤防をより高く、より強固にしたいが、リアス式海岸では湾奥で津波高が著しく増大する。そこで釜石では湾口部に世界最大水深(-63m)の津波防波堤を計画し、技術の粋を凝らして建設した。

ここでは湾口防波堤完成直後に発生した東日本大震災における当該防波堤の挙動を分析してその防護効果を検証するとともに、レベルIIの新たな設計思想を導入してさらに防御力を高めた防波堤の再建に取り組んだ関係者の道程を報告したい。

(本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております)

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会 後援: (公社) 土木学会

インフラ整備70年講演会(第46回)

東日本大震災の津波に耐え抜いた釜石湾口防波堤

《講演者略歴》

藤田 武彦	元運輸省第二港湾建設局 横浜調査設計事務所 建設専門官 /元国土交通省 技術総括審議官
下迫健一郎	元港湾空港技術研究所 特別研究主幹
栗山 善昭	元海上・港湾・航空技術研究所 理事長
津田 修一	元国土交通省 東北地方整備局長

講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 無料 (どなたでも申し込みできます)
- お申し込みは、協会HP (<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点でキャンセル待ちとしての受付となります。(申込み完了通知メールの確認をお願いします)
- **受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)**
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 定員内の申込者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の2日前までに送付させていただきます。
- キャンセル待ちの申込者には、講演当日15時時点で空きがある場合のみZOOM入室URL(事前登録用)を送付させていただきます。なお、先着順で定員を超えた時点で入室出来ません。
- ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いします。

問合せ先 E-mail : infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとあって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第46回講演会 2024年1月25日(木) 15:00~17:00

テーマ：木曾三川の治水 ～治水は何代にもわたる営々とした努力の積み重ね～

講演者 (予定) 辻本 哲郎 (名古屋大学名誉教授)
田村 秀夫 (元 国土交通省北海道局長)
竹村 公太郎 (元国土交通省河川局長)
高橋 伸輔 (国土交通省中部地方整備局河川部長)

* ZOOMウェビナーによる ライブ配信にて行います